

ICS350 課題探求プロジェクトⅢB

3年 3,4クォーター

担当教員	LEHNER ALBERT JOSEPH JR, 伊藤 勇, 横井正信, 木原泰紀, 木村 亮, 岡崎英一, 松田和之, 月原敏博, 皆島 博, 細谷龍平, KING KELLY JEAN, 井上博行, 永井崇弘, 羽田野慶子, 今井祐子, 磯崎康太郎, 生駒俊英, 東村純子, 田中志敬, 栗原知子, 飯田健志, 中村友哉, HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT, BECCE NICOLANGELO, LOMBARDI IVAN
授業形態	演習
アクティブ・ラーニング	アクティブ・ラーニング科目
単位数	2
曜日・時限	水曜日・3～5時限

授業概要

地域創生アプローチを選択する学生は、「ⅢA」での取組みを踏まえて各グループが調査や企画の実施、および発案を行う。調査や企画を実施した後に、教員のサポートの下に会社スタッフや自治体職員、地域住民などと共にデータの分析、改善プラン等の検討を行い、最終的に連携相手先の会社や自治体、関係団体、地域住民等に報告するとともに、報告書を作成する。

グローバルアプローチを選択する学生は、3年次前期に留学を終えた学生を対象として、留学中の各自の設定した探求課題を踏まえて、外国人との共生や地域資源の海外発信を地元コミュニティや自治体の観光関連部局に提案するプロジェクトを実施する。

到達目標

- (1) 地域における企業、自治体、団体等の組織やその目的、およびそれらが直面する課題について構造的に理解し、具体的な課題の解決に向けて実践するための企画や調査・分析を実施する。
- (2) 具体的な課題の解決方法について、社会人と共に協働で取組み、成果を地域に還元する。

先修科目

課題探求プロジェクトⅢA

※同時並行で学ぶ科目：現代社会科目（地域）の各科目

教科書・参考資料等

全体に関わる教科書はない。

連携先や課題に応じて適宜文献を紹介する。

授業の方法

教室でのグループワーク、レクチャー、および学外での活動への参加、および調査を中心とする。活動や調査の事前準備・事中の打合せ・事後の総括のため、授業が行われない週、あるいは空き時間に学生はグループで集まり議論や作業を行う必要がある。

成績評価

活動途中、および最終プレゼンテーション後に提出するレポートおよび、取組みへの態度に関する学生間のピアレビュー・教員や連携先による観察評価

成績

80% レポート

20% 取組みへの態度に関するピアレビュー・観察評価

授業スケジュール

(1回の授業は、隔週1回2コマ連続を原則とするが、実施が1日にわたる場合ないし土日に実施される場合がある。また、授業の予定されていない週については、学生が事前準備や事後討論のためのグループワークを実施するほか、テーマごとに相手先の都合も配慮して弾力的に授業日を変更する)

(地域創生アプローチ)

第1回：行動計画の確認

ⅢA で企画したプランについて、見直しを含めて具体的な実施計画を確定する。

第2～3回：連携先との協働作業

連携先と協働して調査や企画を進行させる。

第4回：進行状況の検討

調査分析や企画の進行状況について、教員、連携先、学生の三者で検討し、調整をはかる。

第5～6回：提案の検討

学生を中心に連携先と連絡を取りながら、調査や企画の振り返りを通して学生としての改善提案を検討する。

第7回：連携先での報告

チームごとに連携先やその利害関係者を相手に報告し、講評を受ける。

第8回：最終報告会

連携先での報告の際の意見を参考に改善提案を再検討し、地域連携協議会（仮称）のメンバーも交えた全体報告会で報告する。

(グローバルアプローチ)

第1回：プロジェクトの企画

留学の際の各学生が取り組んだ探求課題について報告し、それを踏まえて取り組むプロジェクト企画を設計する。

第2回：連携先との協議

企画したプロジェクトに関する連携先と、具体的な提案を行うための取組みの詳細について協議する。

第3～4回：実地ヒアリング

提案に必要なヒアリング調査を設計し、実施する。

第5回：ヒアリング結果の中間報告

連携先にヒアリング結果を中間報告し、講評を受け、追加調査の検討を行う。

第6回：提案の検討

分析を踏まえて具体的な提言を検討する。

第7回：連携先での報告

連携先やその利害関係者を相手に報告し、講評を受ける。

第8回：最終報告会

連携先での報告の際の意見を参考に改善提案を再検討し、地域連携協議会（仮称）のメンバーも交えた全体報告会で報告する。

事前・事後学習

-
- ①各回の授業で指示された内容について、個人およびグループで調査および討議を行い、次回の授業の準備を行う。（予習）
 - ②最終レポート作成に備えて各自毎回の授業および活動の振り返りを行う。（復習）